

2. 徳島県

事業の概要

1. 事業名

「高齢者自転車安全運転競技大会」

2. 主催

内閣府、徳島県、
公益財団法人徳島県老人クラブ連合会、一般財団法人徳島県交通安全協会

3. 後援

徳島県警察本部

4. 事務局

一般社団法人日本交通安全教育普及協会

5. 実施会場

徳島県運転免許センター（徳島県板野郡松茂町）

6. 実施日時

平成30年10月27日（土） 10:30 ~ 14:30

7. 参加者

県内の高齢者及び関係者 74名

8. プログラム内容

- ・開会（主催者挨拶、来賓挨拶・紹介等）
- ・競技場の注意
- ・自転車実技テスト
- ・自転車学科テスト
- ・スケアードストレイト
- ・成績発表、表彰
- ・講評、閉会

9. 実施体制

本事業は、地域における高齢者の自転車による事故防止と意識啓発を図る内容とするため、日頃、地域において交通安全教育や交通安全活動等に携わっている関係者19名による実行委員会を設置し、プログラムの企画と運営にあたった。

10. 実行委員会等開催経過

事前打合せ及び実行委員会

受託業者の決定から事業実施予定日までのスケジュールの都合により、内閣府を中心とした電話連絡等を中心に詳細を決定した。

協議事項：趣旨説明

実施主体の検討

実施日・会場の検討

参加予定者の検討

実施プログラムの検討

実行委員会（事後）

期日：平成 31 年 1 月 31 日（金）

会場：徳島県消費者暮らし政策課（交通安全担当）

協議事項：事後の評価及び反省等

参加者アンケート集計結果

11. 事後実行委員会総括（事務局まとめ）

実施についての感想

- ・県内各地からの高齢者の参加ということで、体調面はもちろん会場内の誘導及び円滑なプログラム進行が不可欠な中、現地実行委員会の配慮等によりスムーズな自転車安全運転競技大会を開催することができた。また、何よりも各地から送迎バスを準備したことで、参加者の安全を確保することができたことは何よりの成果と言える。

成果と課題・今後と取り組み

- ・スケアードストレイトによる交通安全教室は効果的だが、どうしても経費がかかってしまうため、実施には関係機関・団体の協力が不可欠である。また、対象が幼児・児童の場合は、恐怖感を与えるときもあり、内容の検討も必要になってくる。
- ・多くの参加者を対象にする講習会（協議会）では、どうしても待ち時間が発生してしまう。開催時期・場所（屋外等）によっては、人数、時間配分を工夫する必要がある。
- ・交通ボランティアの養成を図るためには、学んだことを各地に戻り、一人でも多くの指導員等に交通事故の恐ろしさを伝えるなど、意志の統一を図ることが必要と考えられる。

12. 実施の様相



(主催者挨拶)



(審査員紹介)



(実技コース確認)



(自転車実技)



(自転車実技)



(自転車実技)



(自転車シミュレーター体験)



(自転車学科)



(自転車学科)



(スケアード・ストレイト)



(スケアード・ストレイト)



(表彰)